



保健だより

令和8年度 8月号 丸森たんぽぽこども園



今週に入って、手足口病・ヘルパンギーナと診断されたお子さんがいます。感染力が強く、家庭内感染などによって大人も手足口病にかかります。

微熱や風邪症状、口の中や手足に発疹が出た場合には医療機関を受診していただくようお願いします。
また、手足口病・ヘルパンギーナと診断された場合には、登園の際に登園届の提出が必要となります。

気をつけたい夏風邪			
	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱 (プール熱)
病原体	エンテロウイルス属 (エンテロ、コクサッキー)		アデノウイルス
症状	口の中や手のひら、足裏などに水疱性の発疹。約3分の1に発熱。まれに髄膜炎や脳炎などを発症	発熱、喉の痛み、口の中に直径1～2ミリの水疱が出る。破れると痛み	発熱、頭痛、倦怠感、喉の痛み、結膜の充血、目の痛みなどが3～5日続く
流行時期	夏季	5月頃から増加。 7月頃にかけてピーク	6月頃から増加し、 7～8月がピーク
感染経路	飛沫、接触、糞口		飛沫、接触
感染者	4歳までの幼児が中心。2歳以下が半数	5歳以下が90%以上	5歳以下が約60%

国立感染症研究所の資料を基に作成

手足口病・ヘルパンギーナの予防方法

ワクチンや特効薬はないため、日常生活での予防がとても大切です

- ・手洗い・うがい: 帰宅時、食事の前後、オムツ交換後などにしっかりと石けんで手を洗う
- ・おもちゃや手の触れる物の消毒: おもちゃやドアノブなどは定期的に消毒する
- ・タオルの共用を避ける: 家族でもタオルや食器の共有は控える
- ・マスク・咳エチケット: マスクを着用し周囲にウイルスを広げないようにします(3歳以上児)

手足口病・ヘルパンギーナの登園の目安

○解熱後24時間以上経過し、通常通り水分や食事がとれるようになってから

*登園できるか判断に迷った場合は、事前にこども園に相談しましょう。